SANUS SYSTEMS

VMTV 壁掛け金具
取 扱 説 明 書

-----27 型以下のブラウン管テレビで、重量 45kg 以下に適用 -----

このたびは、VMTV の壁掛け金具をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。 必ず、販売店や工事店に依頼して、
安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ
テレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、
設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明してます。

⚠ 警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⊘	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

⚠ 警告

⊘ 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠ 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⊘ 荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともテレビの重量の４倍の強度に耐える場所が必要です。

⚠ 警告

禁止

VMTV 壁掛け金具は、27 型以下のの総重量 45kg 以下のブラウン管テレビを、壁面に固定するためのものです。
27 型以上、45kg 以上のブラウン管テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。

禁止

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

⚠

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

❗

テレビの取り付けや取り外し作業は２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

禁止

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

❗

壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

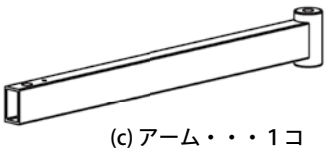
２．部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のＡ図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。

A 図

(a) 壁掛け金具本体・・・・・1 コ

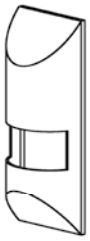
(b) 本体固定ネジ・・・４コ



(c) アーム・・・１コ

(d) アーム軸用ボルト・・・１コ

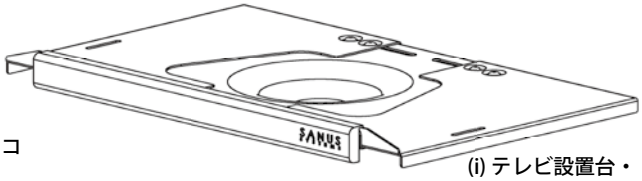
(e) アーム軸用ナット・・・１コ



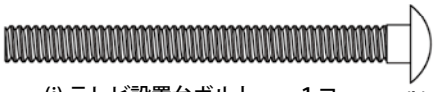
(f) 壁掛け本体カバー・・１コ

(g) 上部プラスチックカバー・・１コ

(h) 止めネジ・・１コ



(i) テレビ設置台・・・１コ



(j) テレビ設置台ボルト・・１コ

(k) テレビ設置台ワッシャー・・ １コ

(l) テレビ設置台ナット・・１コ

(m) 底部プラスチックカバー・・・１コ

(n) テレビストラップ・・・ １コ

(o) ナイロンワッシャー・・・1 コ

3　組み立て方法

1　壁掛け金具本体の取り付け

注意

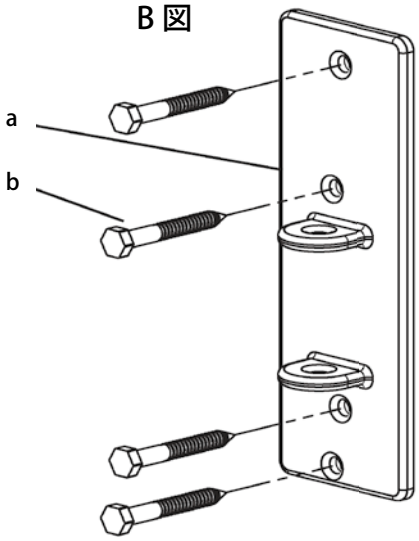
各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。　なお、この取り付け金具は、コンクリート壁、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。下記の取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

（1）ブラウン管テレビの取り付け場所を決め、その取り付け壁面に建っている十分強度のある柱の位置を見つけて下さい。
壁掛け金具本体 (a) の２ヶ所のタブが、B図の様に下の方にくる様に取り付けます。

（2）次に金具を取り付ける柱の中心部に壁掛け金具を当てて、４ヶ所の取り付け穴に印を付けてから、5.5mm 径で深さ 60mm 程度の下穴を４ヶ所開けます。この時４ヶ所の下穴が、柱の中心付近にあり、且つ垂直に印が付けられている事を確認して下さい。

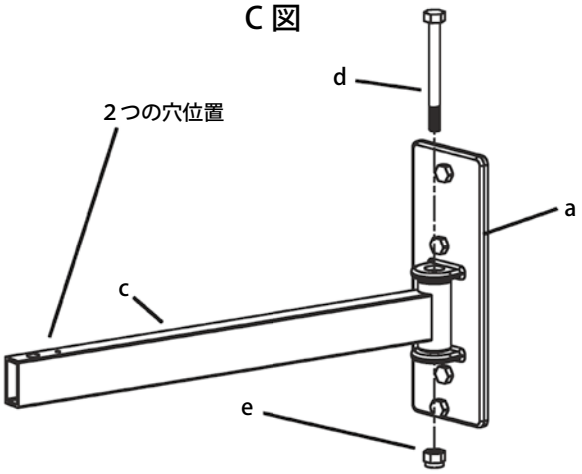
（3）本体固定ネジ (b) ４本で、壁掛け金具 (a) を柱にしっかりと固定します。
本体固定ネジは壁金具本体が、壁に密着する程度に締め付けるのが最適であり、締め付け過ぎないようにして下さい。

B 図

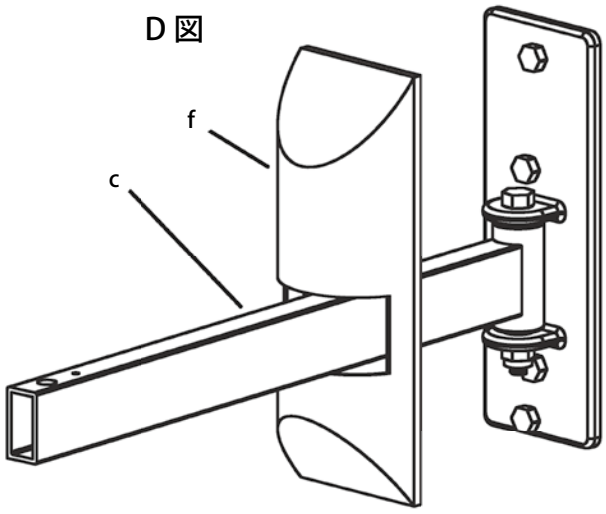


2　アームの組み立て

C 図



D 図



（1）アーム (c) の先端にある 2 つの穴が上面を向くようにして、アームの円柱部分を、C 図の様に壁掛け金具本体 (a) のタブの間に差し込みます。

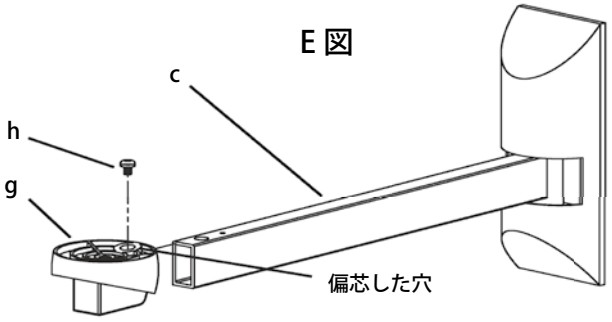
（2）アーム軸用ボルト (d) を、壁掛け金具本体 (a) の２個のタブの上から下方向に挿入し、且つアーム (b) の回転部分にも貫通させます。

（3）アーム軸用ナット (e) をC図の様に配置した上で、レンチでしっかりと締め付けます。

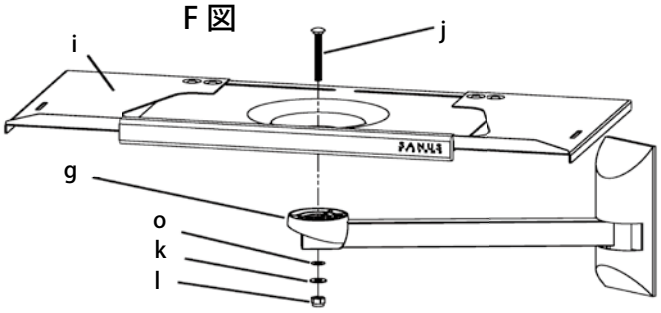
（4）次に、D図の様に、壁掛け本体カバー (f) を壁掛け金具本体 (a) にかちっと嵌め込みます。

3　テレビ台の取り付け

E 図



F 図



（1）上部プラスチックカバーの取り付け
E 図の様に、上部プラスチックカバー (g) をアーム (c) の先端部に差し込みます。
上部プラスチックカバーの中にある偏芯したねじ穴に止めネジ (h) を配置して、アームにしっかりとねじ込みます。

（2）テレビ設置台の取り付け
テレビ設置台 (i) の折れ曲がった面が上向きになり、且つ前面に向けて、F 図の様にプラスチック上部カバー (g) の上に配置します。

（3）テレビ設置台ボルト (j) の首下に当たる所に四角形をした部分があります。
この四角形の形は、テレビ設置台 (i) の中心部に開いている 3 つの角穴の内の 1 つに合わせる様になってます。
一番後ろの穴は、テレビを水平に固定するときに使い、真ん中の穴は、テレビを前面に 5 度傾けるときに、又一番手前の穴はテレビを前面に 10 度傾ける事が出来るので、お好みの角度に相当する穴を見つけて下さい。
なお、23 型又は 27kg 以上の重量のテレビには、手前の 10 度用の穴は使用しないでください。

（4）テレビ設置台ボルト (j) をテレビ台 (i) のお好みの穴に下向きに通してから、上部プラスチックカバー (g) の中央の穴に貫通させます。最後にナイロンワッシャー (o) とテレビ設置台ワッシャー (k) とテレビ設置台ナット (l) でテレビ設置台ボルトを締め付けます。
テレビ設置台ナット (l) が、しっかりと締め付けられている事をもう一度確認して下さい。。

4　テレビの取り付け

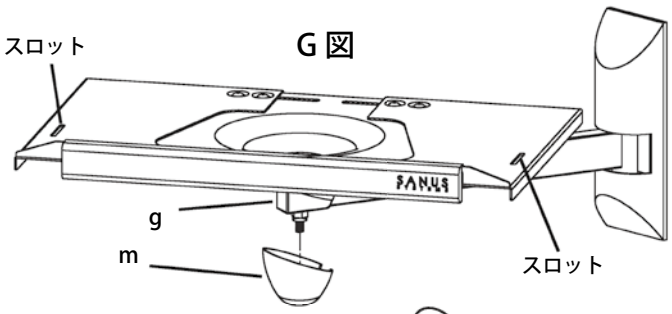
（1）底部プラスチックカバー (m) をG図に様に、上部プラスチックカバー (g) の下側に押し込んで被せます。

（2）テレビ設置台 (i) の裏側にある 8 個のナットを一旦緩めて、テレビ台の左右のスロットの位置が、テレビの横幅よりわづかに広くなる様に調整します。
テレビ台の横幅調整が完了したら、8 個のナットは元通りしっかりと締め付けて下さい。

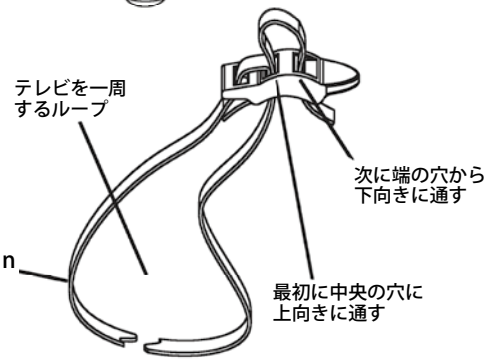
（4）テレビをテレビ台の上に置いて、テレビ本体の底面の前面が、丁度テレビ台の前面のへりのすぐ後側にくるように配置します。

（5）テレビの取り付け位置が決まったら、テレビストラップ (o) をテレビ設置台の一方のスロットの上から下に通して、テレビ設置台のもう一方のスロットから引き上げて、テレビの上まで一周させます。
テレビ本体とテレビ設置台を、テレビストラップで H 図の様にしっかりと締め付けたらテレビの取り付けは完了です。

G 図



H 図



禁止　テレビストラップを安全に取り付けないままで、テレビをテレビ設置台の上に放置すると、落下して大けがをしたり、テレビが破損する恐れがありますので、必ずテレビストラップでしかりとテレビを固定して下さい。

SANUS SYSTEMS

お問い合わせ、ご購入は営業窓口へ
Sanus Systems 輸入総代理店・発売元　ネットワークジャパン株式会社
〒 559-0012　大阪市住之江区東加賀屋２－８－１２　　Tel : 06-6686-6355 Fax : 06-6681-5734
E-mail : info@network-jpn.com
URL : http://www.network-jpn.com/sanus/